



# 公約実現へ全力！

## 新生・杉並区議団 初の議会論戦

改選後、初となる杉並区議会第二回定例会が行われました。新生・杉並区議団は、掲げた公約を実現し、住民生活を守るために、徹底論戦に取り組みました。

**子ども達の宝  
児童館を守れ！**

野垣区議は、東原児童館の廃止問題や学童クラブが学校内に移転すること、同時に民間委託となることについて区の姿勢を追及しました。

区は、児童館を廃止しても機能は継承し拡充するとしてきましたが、一般来館に代わる放課後等居場所事業は、職員や面積の基準もあいまいで、児童館機能の大きな後退となることが明らかになりました。中高生の居場所も確保されていません。

また、2月に策定された「学童クラブ民間委託ガイドライン」では、今まで制限されていた株式会社への参入が盛り込まれてしまい、質が問われる事態となります。株式会社の参入は重大な問題、民間委託はするべきではないと迫りました。

党区議団は、これからも児童館廃止や民間委託をやめさせ、子どもたちの居場所を守るために全力を上げます。



野垣あきこ区議が初の一般質問

**子育て世代の声届ける**

**高過ぎる国保料  
引き下げを！**



酒井まさえ区議が初の一般質問

**看護師40年の経験活かし**

酒井区議は、看護師として40年働いてきた経験を活かし、国保料の引き下げを求めて一般質問に立ちました。

杉並区の国保料は、今年も値上げとなりました。所得に関係なく、世帯人数（頭割り）で、一律に負担が求められる均等割り。他の保険制度には無いものです。世帯人数が多いほど負担が重くなる制度に対して制度の見直しを求める要望が各自治体から寄せられています。実際に、年収400万・子どもがいる世帯の収入に占める保険料の割合は、12.5%もの負担になっています。「高すぎて払えない」という多くの声が寄せられている状況です。

区の認識を質すと、保険料の高さを認めながら「制度を安定的に運営していくためには必要なこと」と強弁しました。

また、国保料負担増のもう一つの理由は、国が、一般会計からの法定外繰入れの廃止を指導していることです。区に法定外繰入れの継続を求めたところ、区は継続するとは明確に答えませんでした。今後、国保料の引き下げに向けて全力を尽くします。

### 重大な問題を含む議案への各会派の賛否

#### ■区立保育園の民営化（廃止）に関する議案

会派	自民	公明	共産	立民	平和	無維	共生	杉わ	正理	杉耕	無	美杉	革新
議案第29号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×

※平和（ネット議員が所属）無維（自民・維新議員が所属）

#### ■高円寺小中一貫校整備（既存小学校の廃止等）に関する議案

会派	自民	公明	共産	立民	平和	無維	共生	杉わ	正理	杉耕	無	美杉	革新
議案第32号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×
議案第41号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×
議案第43号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×

### 住民の立場貫く党区議団 一方、区長追従の杉並区議会

区議会第二回定例会では、区立保育園の民営化による既存園の廃止（西田・井荻・中瀬）に関する議案、高円寺小中一貫校整備のため既存の小中学校の廃止（杉4小、杉8小、高円寺中）に関する議案が提案されました。

区立保育園の民営化は行政の公的責任を大きく後退させるものです。

高円寺小中一貫校は、地域コミュニティの核となる小中学校を統廃合するものであり、近隣住民から計画の見直しを求める声があがっていました。

こうした問題のある議案に対して、党区議団と一部の少数会派議員を除く、オール与党の会派が議案に賛成したことは重大な問題です。議会のチェック機能が厳しく問われています。党区議団は、住民目線、住民の立場で論戦に臨みます。

# 住民生活の守り手として徹底論戦

## 消費税増税は中止を



富田たく 区議

消費税増税問題について、区内商店調査をもとに区の認識を質しました。  
景気が悪化する中で消費税増税は区内の地域経済に重大な影響を与えます。党区議団の区内商店への実態調査により、消費税増税により自営業者の売り上げが減少していることが明らかとなりました。

また、区内自営業者の53%が消費税を価格に上乗せできず、自らの利益を削って納税している状況です。区民生活と営業を守る立場から、少なくとも10月からの増税は延期するよう、区長が政府に求めるべきと迫りました。区は、党区議団の調査結果に対し、売り上げへの影響を心配する声があることを認めました。一方、国に延期等を要望しないと答弁。国の増税政策に追随する姿勢を示したことは問題です。  
今後も区内地域経済と区民生活を守るため、実態調査などの結果を活用し、増税中止と区内事業者支援の拡充を求めます。

## 施設使用料の引き下げを

この間、区立施設の使用料が大幅な値上げとなっています。登録団体の2分の1減額制度廃止や、プールなどの高齢者割引の縮小、学校開放の有料化など、施設にかかわる区民負担が大幅に増加しています。党区議団は、一貫して施設使用料の値上げによる問題点を指摘し、改善を求めてきました。

第二回定例会では、久我山会館のホール使用事例を取り上げ、これまでの使用料が2倍以上、実に1万円もの値上げとなっていることを告発しました。

公共施設の使用料については、他の自治体では福祉や文化・スポーツなどの公益性を考慮し「原価」に対し一定の割引率をかけた使用料高騰を抑えています。他自治体を参考にして区民負担を軽減し、使いやすい使用料へ引き下げるよう、今後の見直しで検討することを求めました。

### 久我山会館のホールの使用料

2014年まで	8000円
現在	18000円

※休日午後、3時間使用した場合



金子けんたろう 区議

## 不要な道路計画見直しを

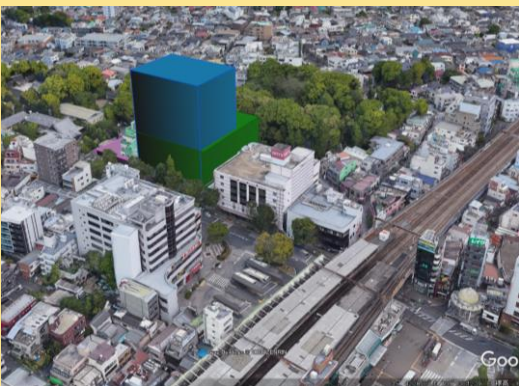


くすやま美紀 区議

## 問題告発 見直し迫る

くすやま区議は、阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりの地区計画素案の問題点を追及しました。素案では、河北病院の移転先用地であるけやき屋敷は、樹木も緑も大幅に削減することが明らかになりました。

都条例では、既存樹木は全て残すか計画地内に移植が原則であることを示すと、区も否定できませんでした。さらに、区は、けやき屋敷でツミの生息を2回確認したと答弁。都条例では、希少な猛禽類が生息している地域での伐採の禁止等を厳しく制限しています。計画の見直しは避けられないと迫りました。さらに、杉一小を移転しようとする河北総合病院敷地の医療廃棄物による汚染の可能性の有無や、杉一小の移転跡地に13階建ての高層ビルに商業施設を誘致する計画など、問題点を明らかにしないまま計画を進めることは許されず、再検討すべきと求めました。



ツミ（区内で撮影・上写真）  
杉一小跡地の13階建て施設イメージ（区の資料から作成）



山田耕平 区議

都市計画道路補助132号（西荻地域の道路拡幅）、133号（中杉通りから五日市街道までの延長）の問題を取り上げ、不要な道路整備を止めるよう求めました。どちらの都市計画道路も計画沿線の住民に大規模な立ち退きを迫るものです。

区は、道路整備の必要性や費用対効果、総事業費の概算等、住民への説明責任を果たさず、計画を進めています。質問では、道路整備の必要性が大きく低下している実態を明らかにしました。区の極めて乱暴な道路拡幅方針に近隣住民から計画見直しを求める声が急速に広がっており、補助132号線問題では、区議会に3633筆の陳情署名が提出されました。住民合意も無いため計画を強行することは許されません。地域を壊す道路整備の見直しを求め、今後も論戦に取り組みます。